

# まいづるパートⅡ

令和4年度 No.14 校長室だより

通算No.14 (R4. 11. 17)

霧島市立国分小学校長

## ☆ 虫歯を放っておかないで！それって、児童虐待？ ☆

本校の検査当初の虫歯保有率は21.7%で、11月現在の虫歯保有者の治療完治率は32.6%と低い状態で、まだ治療が終わっていない児童の実数は116名とのことです。

虫歯があると歯が痛いのは当たり前ですが、その痛さによって食べ物をしっかり食べられなかったり、夜眠れなかったりして体調不良にもなってしまいます。また、虫歯がひどく進行すると、若いうちから差し歯や入れ歯の生活になり、**金銭的な負担**もかなり大きくなってしまいます。（虫歯菌が脳にも達してしまう症例もあります。）そのため、学校からは早め早めの対応をとる（治療をする）ようにと連絡（催促）がいくことになります。（乳歯の虫歯もその下で準備している永久歯に影響があります。乳歯も放っておくとダメということです。）



東京大学の研究チームが調査研究したところ、**育児放棄（ネグレクト）**の家庭の多くで、子どもに虫歯がかなり多く存在するという報告がなされています。このことは逆に考えると、虫歯が多い子どもの家庭はネグレクトの家庭を疑わなければならないということになります。また、別の研究者（岡山県の歯科医師）は、子どもの歯が痛い（虫歯がある）のに、治療に連れて行かないことは**児童虐待**として児童相談所等に通報すべきだとの論もあります。

それぞれの家庭に都合があることは承知しておりますが、子どもが困っている（困ってくる）ことをそのまま放っておくことは非常に罪深いことだと思います。子どもの幸せのために、また、子どもを保護する立場として**確実に治療を行ってほしい**と思います。

※ 本市では子ども医療費助成制度があり、最終的な自己負担が軽減されますので、ぜひ受診をお願いします。また、家庭によっては、すでに医療券を発行しており、窓口での支払いの必要もありません。（ただし、期限が決まっています。）

## ☆ 良い思い出になりました「修学旅行」 ☆

今年の**修学旅行**は、昨年度とほぼ同じ行程でしたが、研修場所ではそれぞれに**良い体験**、**良い思い出**ができたようです。

全体としては、ちょっとしたトラブルがあったものの、**大きな事故や怪我がなく**、無事帰ってくることができたことを喜びたいと思います。また、私がよく話している「**気づき・考え・実行する**」も、時間が経つにつれ意識する子が増えていったことも嬉しいことでした。

たった1泊2日の行程でしたが、子どもたちにとっては**大きく成長するきっかけ**になったのではないのでしょうか。6年生の皆さんにとって、関わってくださった保護者の皆さん、旅行会社（添乗員さん）やカメラマンさん、運転手さんやガイドさん、ホテルの方々、周りにいる友達、本校の職員など、**多くの人々に支えられている**ことを実感できたのではないのでしょうか。

この修学旅行の経験を今後の学校生活に生かして行ってほしいと思います。特に学校の最高学年として、そして卒業に向けて、6年生の皆さんが様々な場面で活躍してくれることを願っています。



## ☆ お願い ☆

・ 現在、強制ではありませんが、朝の始業前に、自主的に**校庭を走ったり**、**縄跳び運動をしたり**、**ボランティア活動を行ったり**する子が増えてきています。登校してから始業までの時間帯は、児童の社会性や自主性を養う大切な時間帯になっています。ボランティア活動や委員会活動、友達や先生との会話、体力づくりや遊び等を体験する**貴重な時間**だと考えます。8:00以降に登校する児童は、いつもより10分～15分朝の行動を早くすることで、この貴重な体験を得ることができます。ぜひ、子どもたちにこの貴重な体験をさせてほしいと思っています。ぜひ、家庭の協力をお願いいたします。（「**早寝・早起き・朝ご飯運動**」ともつながります。）

学校教育目標「胸を張って堂々と生きる」 青少年赤十字の目標「**気づき・考え・実行する**」